様式　1

指定管理業務運営状況評価表

所管課　都市施設課
評価日　令和5年6月9日
評価対象期間　令和4年4月1日から令和5年3月31日

1. 指定管理者の概要

施設名称	烏川緑地等
所在地	藤岡市立石1667　他
指定管理者	(株)中野農園芸
指定期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日
選定方法	プロポーザル方式

評価ランク	評価内容
S	仕様書、協定書等で定められた水準以上
A	仕様書、協定書等で定められた水準に達している
B	仕様書、協定書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障はない
C	仕様書、協定書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要

2. 施設の運営について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備　考
施設設置目的との整合性	施設の設置目的に沿って運営されている	現場	A	
平等利用	特定のものに有利あるいは不利な取り扱いをしていない	聞取り	A	
自主事業	利用者のニーズに合った事業の実施など、サービスを向上させる取組みを実施している	書類 聞取り	A	
経理状況	施設の管理運営に係る経理の内容は適切である	書類 聞取り	A	
収支状況	経営状況等に問題はない	書類	A	
	経費削減のための努力をしている	書類	A	1サイト当たりの利用人数制限等により大幅な落ち込みを避けることができた
市や関係団体等との連絡体制	市や関係団体との連絡調整が、必要に応じ、適切に実施されている	聞取り	A	月例報告会議等
利用時間等の遵守	協定で定めた利用時間、利用日、利用期間が遵守されている	現場 聞取り	A	
管理運営体制	安全で快適な施設運営ができるための人員が確保されている	現場 聞取り	A	
	協定で定めた人的サービスを、問題なく提供している	書類 聞取り	A	台風等で倒木したアカシヤの木を丸太遊具や薪、着火剤として有効活用した
	労働管理規程等を整備し、従業者の適正な労働条件が確保されている	書類	A	
	緊急時に迅速に対応できるよう、指揮命令系統が明確にされている	現場 聞取り	A	緊急時連絡体制組織図を各施設に掲示

3. 施設によるサービスの提供について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備　考
接遇	職員は仕事内容を十分に把握している	聞取り	A	
	職員の接客態度に問題がない	書類	A	
	接遇に関する研修を実施し、職員が内容を熟知している	聞取り	A	マナー研修実施
利用者の満足度	アンケートの実施や意見箱の設置など、利用者の声を現場で聴取する取組がなされている	書類	A	アンケート実施
	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組がなされている	書類	A	
苦情等への対応	苦情に迅速かつ適切に対応している	書類	A	
	苦情等への対応時に市と指定管理者の責任者等の間で、十分な連絡が取れるよう、体制が整っている。	書類	A	

様式 1

4. 施設の管理状況について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備　考
施設・設備の維持管理状況	法定保守点検は、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されている			該当なし
	建物の保守管理が適切に行われている			該当なし
	エレベーター等の設備機器について、定期的に点検や安全確認を行っている			該当なし
	点検によって、異常等が認められた場合、速やかに交換・修繕・調整等の適切な処置が実施されている	現場 聞取り	A	維持管理を徹底した
	備品について、備品台帳をもとに適切な管理がなされている	現場	A	
	清掃が適切に行われている	現場 書類	A	日報、日程表
警備体制	利用者の安全を保つため、必要な形態で実施されている	聞取り	A	管理人の巡回のほか、地元警察署へもパトロールの強化を協力依頼している
	鍵の管理は適切である	現場	A	キーボックス
	夜間等職員不在時の警備体制が明確化されている	聞取り	A	
個人情報保護	個人情報を適切に保管している	聞取り	A	
	他の目的の為に、個人情報を収集又は使用していない	聞取り	A	

5. 危機管理体制について

評価の観点	評価項目	確認方法	評価	備　考
事故等への対応	日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されている	聞取り	A	安全訓練実施
	緊急事態発生時の職員対応マニュアルが整備され、研修・訓練等が定期的に実施されている	聞取り	A	安全訓練実施
	事件・事故等が発生した場合、市に遅滞なく連絡されている	聞取り	A	
災害時等への対応	災害時の対応体制が作られている	現場 聞取り	A	緊急時連絡体制組織図を各施設に掲示
	防火・防犯等の対応体制がつくられている	現場 聞取り	A	緊急時連絡体制組織図を各施設に掲示
	災害時の避難誘導や、犯罪の通報等の研修・訓練がなされている	聞取り	A	安全訓練実施

6. 総合評価（改善に向けた取組及び今後の方針等）

全ての項目に関して、仕様書・協定書等で定めた水準に達していて適切に業務が行われている。
自主事業のオートキャンプ場に関して、敷地内の支障木を伐採し、丸太や枝等を薪や着火剤として無料提供するとともに、不用になった子ども用自転車やボール、フラフープ等の遊具を無料貸出、アンケート要望である12月までの期間延長など利用者の希望に沿った対応をすることで利用者増加が見込まれています。
また、市のホームページやwebサイト、パンフレット作成により、各自治体、各学校、福祉施設、民間会社へのPR活動に努めた結果、認知度が向上し、年々業績が上昇している。
なお、管理施設が河川区域のため、今後も災害時の対応について協議していきたい。